

分野	授業科目	単位 (時間)	進度	担当
専門分野	基礎看護技術Ⅱ	1 (30)	2年前期	松本智晴・山崎康代 清水 潔 実務経験あり
科目目的	フィジカルアセスメントの基本技術を習得することで対象理解を深める。			
科目目標	1. フィジカルアセスメントの基本技術を理解する。 2. 具体的な演習の実施により基本技術を習得し、臨床看護に活かす。			
単元名	教育内容	時間	教育方法	担当
1. フィジカルアセスメントとは	1) フィジカルアセスメントとは 2) ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメントの関係性 3) フィジカルアセスメントに必要な技術	2	講義	山崎
2. フィジカルアセスメントの実際	1) 全身のみかた (1) 視診・触診・打診・聴診 (2) バイタルサインのみかた	2	講義	松本
	2) 消化器系のみかた (1) おもな消化器症状とその意味 (2) 腹部の視診 (3) 腹部の触診・打診・聴診：腸蠕動音の判断 (4) 口腔内の視診 3) 脳神経系のみかた (1) 意識状態評価 (2) 呼吸パターンの確認 (3) 瞳孔および対光反射 ・脳疾患と特徴的症状のとらえ方、知覚支配	4	講義	松本
3. 身体計測	4) 消化器系・脳神経系のアセスメントの実際 5) 呼吸器系のみかた (1) おもな呼吸器症状とそのとらえかた (2) 重要な徴候とそのとらえかた ・チアノーゼ、ばち状指 (3) 呼吸器の所見のとりかた (4) 呼吸音の評価 6) 循環器系 (心・血管系) のみかた (1) おもな症状と徴候、水分出納、浮腫 (2) 視診 (頸静脈の視診) (3) 触診・打診：動脈の触診、胸壁前の触診、打診 (4) 心音の聴取 (5) 心電図 (不整脈)	4 6	演習 講義	松本 松本
	7) 呼吸器系・循環器系のアセスメントの実際	4	演習	松本
4. 医療機器の原理と実際	1) 計測の実際 (1) 身長、体重、皮下脂肪厚、腹囲など	2	講義	山崎
4. 医療機器の原理と実際	1) 医療機器とは；その使用目的と原理 2) 取扱い上の留意点	4	講義 (演示)	清水
5. まとめと試験		2		山崎
テキスト／その他の教材	写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント (インターメディカ) 系統看護学講座「看護看護技術Ⅰ」(医学書院)			
評価方法	筆記試験 (松本 70点・山崎 30点) で評価する。			